

# パートナー せたかや

## PARTNER

事業団のホームページ ▶ <http://www.setagayaj.or.jp/>



「訪問看護ステーション けやき」世田谷区世田谷1-23-2  
世田谷の代官屋敷の目の前にある機能強化型訪問看護ステーションです。地域の中で医療と介護の連携の推進、地域住民の相談対応や訪問看護師育成にも取り組んでいます。  
撮影:11月中旬

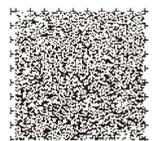


## 目次

- 1ページ 目次等
- 2ページ 特集 | 在宅生活を支援する事業団の取組み①
- 3ページ 在宅生活を支援する事業団の取組み②、お役立ち情報
- 4ページ 利用者紹介、お知らせ(ご寄附 他)



**パートナー** は世田谷区の各区民センター、出張所、まちづくりセンター、あんしんすこやかセンター、図書館等、及び スーパーマーケット **オオゼキ** (上町店、松原店、下北沢店、八幡山店、千歳烏山店、祖師谷大蔵店) で配布しています。





## 特集 | 在宅生活を支援する事業団の取組み (通所介護事業所)

「日常生活全般で介護が必要」、「糖尿病のためインスリン注射が必要」、「たんの吸引が必要」—こうした重度の要介護認定を受けている方や医療的ケアが必要な方でも、「デイ・ホームを利用したい!」というご要望があれば、事業団のデイ・ホームでは積極的に受け入れています。

そして、利用者お一人おひとりの状態に柔軟に対応したサービスを提供し、地域や社会とのつながりを保ちながら、ご自宅での暮らしを続けられるよう支援をしています。

今回は、事業団のデイ・ホーム6事業所の中から、デイ・ホーム太子堂での取り組み状況等をご紹介します。

### 在宅生活を支援する デイ・ホーム太子堂 の活動

現在、デイ・ホーム太子堂では100才を超える方、医療的ケアや介護が必要な高齢者を含め、様々な状況の方が通所されています。

皆さん、その人らしい生活の継続を目指してデイ・ホームをご利用いただいています。



◀ 絵てがみ作品

▶ 菊まつり見学の様子



#### 関係者と連携し、常に情報を共有

担当のケアマネジャーを中心に、実際に介護を行う担当者、ご家族や利用者が参加するサービス担当者会議を開くことで、生活全体の課題を皆が把握し、その方に合ったケアや対応などの情報を共有していきます。

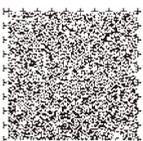
#### できることを安全に

共有した情報等を活用して、感染予防や転倒等のリスク回避、異常の早期発見、疼痛対応等を優先しながら、様々なプログラムに参加していただきます。「こういうことならできますね」「このプログラムは控えましょう」等、具体的にひとつずつ確認しつつ、必要があれば休息をとりながら安全に活動することができます。



▶ おやつ作りの様子

平成28年4月からの障害者差別解消法施行に伴い、広報紙「パートナー」では文字情報をデジタル信号に変えることで、視覚障害者などが音声でその情報を知ることができる「音声コード」を紙面に挿入しています。音声コードを専用の「活字文書読み上げ装置」で読み取ると、掲載情報を音声で聞くことができます。



## 在宅での生活を続けるために



今後、ご自宅での生活を続けていく要介護の方や、在宅で医療的なケアを必要とする方がますます増えていくと予測されます。人生の最期をご自宅で迎えることを希望される方も増えるのではないのでしょうか。

現状では「日常生活にも介護が必要なおうえに、重篤な病気を抱えている」と言うと、受け入れてもらえないのでは？ と遠慮してしまい、必要な情報がいただけないことがあります。しかし、ご利用いただくにあたり情報共有はとても重要で、ご家族を含め、ご自宅での生活を支える様々な関係者の横の連携をより一層タイムリーに行うことが必要です。



▲ 102歳のお祝い



例えば、デイ・ホームの看護師は日常的に医師から直接指示を受けることはありませんが、事前に「緊急連絡先の確認」や「どのような場合に医師の指示が必要か」といった情報の調整をし、デイ・ホームでどこまでケアすることができるかをすり合わせることであれば、楽しく過ごしていただけたらと考えています。

事業団のデイ・ホームでは今後さらに、在宅で医療的なケアを必要とするような方も受け入れていきたいと考えています。職員も介護技術や知識の向上に努め、区民の皆さんがいつまでも住み慣れた環境で生活できるよう支援します。（デイ・ホーム太子堂所長、看護師）



▲ お祭りで太鼓の演奏を披露

問 デイ・ホーム太子堂 世田谷区太子堂5-24-20 ☎ 03-5486-8254

### お役立ち情報

## コタツの中でもできる お手軽体操

寒くなると足元、特につま先の冷えを感じる方は多いかと思います。厚手の靴下を履いて保温に努めることは良いことですが、足の指は動かしていますか？

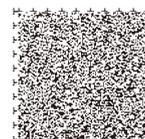
人間は動かなければ動きにくくなってしまいう動物です。足指の動きが悪くなると、バランスを取りにくくなり転倒の一因となります。暖かい部屋の中やお風呂の中など、少し足の指を動かしてみましょう！



### 体操の説明

- ① 足の指を、物をつかむように曲げます。
  - ② 足の親指と小指をできるだけ離すように開きます。
- ※ 無理に行うと足がつることがあるので、痛みなく疲れが残らない程度の強さ・回数で実施してください。

芦花ホーム 理学療法士 宮澤 貴之



利用者  
紹介

# 元気の みなもと

問 訪問看護ステーション けやき  
世田谷区世田谷1-23-2  
☎ 03-5450-8806  
FAX 03-5450-8296

マスコット  
キャラクター  
シャジー



## 訪問看護ステーション けやき 竹村 啓 様

2年ほど前から訪問看護を利用されている竹村様は、詩人として30年以上活動されているほか、たくさんの趣味をお持ちのとても感性豊かな方です。

ライフワークとしている詩の他にも、語学の勉強をされていたり、以前には油絵の個展も開かれたことがあるそうで、実に多才。

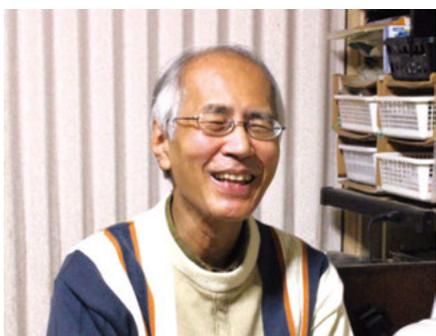
ろうしょうぶとう

さらに最近では、「音楽を生きる」という感覚で踊る『朗唱舞踏』というものにも挑戦していて、昨年7月には詩の朗唱と舞踏を組み合わせた公演をすべて一人で手配して行ったそうです。

一昨年は入院されていた時期もあったそうですが、今年の4月には2回目の公演も行う予定。現在はとても生き生きと過ごされています。



▲ 昨年初めて行った発表会のチラシ



▲ 「人とつながりが大切」と竹村様

### 元気の秘訣

#### ◆ 人と話すこと

そんな竹村様の元気の秘訣は、「人と話すこと」。

詩の仲間たちとの集まりや訪問看護などを通じて、本当に生きていく力になっているのは人と話すこと。人と話せることが自分にとって一番いいことだと気づいたそうです。

「人と会って話すことが一番好き。詩を書くのと同じくらい好きです。人と交流することは心の財産になるし、自分が豊かになる。」とこの日一番の笑顔でお話してくださいました。

## お知らせ

### 新規事業所開設のお知らせ

平成30年3月 事業団の新しい施設がオープンします。

すま

施設名：(仮称)地域密着型特別養護老人ホーム寿満ホームかみきたざわ

定員数：29人

併設事業所：訪問看護事業所：(仮称)訪問看護ステーション上北沢

居宅介護支援事業所：(仮称)上北沢介護保険サービス

所在地：世田谷区上北沢1-32-11

施設に関するお問い合わせは、下記問合せ窓口までご連絡ください。

入所のお申込みは、お住まいの地域の世田谷区総合支所保健福祉課地域支援担当にご相談ください。



<イメージ図>

問 経営企画課新特養開設準備室 ☎ 03-6679-6719



### ご寄附

多くの皆様より、善意の寄附金、寄附物品をいただきました。心より御礼申し上げます。

平成29年10月～12月中旬にご寄附頂いた方

長谷場義久様、橋本孝子様、還田宏様、  
梅木秀孝様、深山秀幸様、伊藤アツ子様 他

※お名前はご了承いただいた方のみ掲載しています。

問 総務課総務係 ☎ 03-5450-8223

### 税法上の優遇措置

当法人への寄附は、所得税等の税法上の優遇措置の適用がございます。ご寄附のお申し出は左記の問い合わせ先、又は各事業所までお願い致します。

